



NEWS RELEASE

報道資料
2008年5月14日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ 2008年度第2四半期の業績を発表

- ・純売上高：21億5,000万ドル（前年同期比15%減、前期比3%増）
- ・純利益：3億300万ドル（前年同期比26%減、前期比15%増）
- ・一株当たり利益：0.22ドル（前年同期比0.07ドル減、前期比0.03ドル増）
- ・新規受注高：24億1,000万ドル（前年同期比9%減、前期比3%減）

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は5月13日（現地時間）、2008年度第2四半期（期末：2008年4月27日）の業績を発表しました。2008年度第2四半期（以下当期）の純売上高は21億5,000万ドルで、2007年度第2四半期（以下前年同期）の25億3,000万ドルを15%下回り、2008年度第1四半期（以下前期）の20億9,000万ドルを3%上回りました。当期の売上高総利益率は45.0%で、前年同期の44.9%を上回り、前期の44.8%を上回りました。当期の純利益は3億300万ドル（一株当たり0.22ドル）で、前年同期の4億1,100万ドル（一株当たり0.29ドル）を下回り、前期の2億6,200万ドル（一株当たり0.19ドル）を上回りました。

当期の新規受注高は24億1,000万ドルで、前年同期の26億5,000万ドルを9%下回り、前期の25億ドルを3%下回りました。当期新規受注高の地域別比率は、韓国22%、台湾22%、東南アジアと中国18%、日本13%、ヨーロッパ13%、北米12%となっています。当期末受注残高は45億9,000万ドルで、これに対し前期末は41億ドルでした。

アプライド マテリアルズの社長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「第2四半期の業績には、すべての事業分野で業務の遂行と慎重なコスト管理を重視してきたことが反映されています。当社はディスプレイ事業とソーラー事業に力を入れる一方、世界的に弱含みとなった半導体装置市場の課題にも対応しています」

「当期、アプライド マテリアルズは結晶シリコン太陽電池製造装置の市場でリーダーシップを確立し、薄膜太陽電池用の製品で勢力を強めたほか、業界初となるギガワット規模の薄膜太陽電池プロジェクトを発表しました。さらに、新しいマスク検査装置 Aera2™ も投入しています。ナノマニュファクチャリングテクノロジーを活かして人々のライフスタイル

を向上させる、という目標を追求するアプライド マテリアルズの前途には、大きなチャンスが開けています」とスプリンターは結んでいます。

2008 年度第 2 四半期の非 GAAP ベース純利益は 3 億 6,200 万ドル（一株当たり 0.26 ドル）で、これに対し前年同期は 5 億 900 万ドル（一株当たり 0.36 ドル）、前期は 3 億 4,500 万ドル（一株当たり 0.25 ドル）でした。非 GAAP ベースの調整については以下に説明を加え、さらに添付の「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」にも詳細を示しました。

2008 年度第 2、第 1 四半期と 2007 年度第 2 四半期の報告セグメント別業績は以下のとおりです。

	3カ月期末								
	2008年4月27日			2008年1月27日			2007年4月29日		
	新規 受注	純 売上	営業 利益 (損失)	新規 受注	純 売上	営業 利益 (損失)	新規 受注	純 売上	営業 利益 (損失)
(単位：100万)									
シリコン	\$1,061	\$1,268	\$448	\$1,075	\$1,237	\$445	\$1,939	\$1,738	\$606
アプライド グロー									
バル サービス	602	599	159	610	595	149	586	589	157
ディスプレイ	493	198	59	555	133	34	60	160	28
エネルギーおよび									
環境ソリューション	257	85	(71)	260	122	(48)	63	43	(15)

2008 年度第 1 四半期から、アプライド マテリアルズはサービス事業の管理報告システムを変更し、サービス関連のすべての業績をアプライド グローバル サービスのセグメントにまとめています。2007 年度のセグメント別業績は、2008 年度の報告形式に合わせて再分類されています。

添付の「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」に詳細を示した非 GAAP ベースの純利益ならびに非 GAAP ベースの EPS（一株当たり利益）では、以下に関連する費用を除外しています。(i) 株式ベースの報酬、(ii) 買収に関連した一部の項目（無形資産の償却、売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整を含む）、(iii) リストラクチャリングと資産減損、(iv) ビームラインイオン注入装置の開発終了に関連する一部のコスト、(v) 所得税監査の結果ならびに税控除の変更。当社の経営陣は、ビジネス目標と比較した営業成績や財務成績の評価ならびに計画立案に、非 GAAP

ベースの純利益と非 GAAP ベースの EPS を用いています。これらの財務データは GAAP（一般会計原則）に沿ったものではなく、また他社の用いる非 GAAP ベースの会計報告手法とは異なる場合があります。こうしたデータは、投資家の皆様が経営陣と同じ視点で当社の事業を検討し、過去の会計期と当期の業績を比較する上で役立つと当社は考えています。この追加情報の提示をもって GAAP に基づく純利益および EPS のデータを代替することは意図しておりません。

本プレスリリースには、当社の業績、業務効率、製品、戦略的ポジションおよび機会、業界展望その他の将来見通しが述べられています。こうした将来の見通しを記述した文章には、「期待する」「確信する」「するかもしれない」「するはず」「する予定」「予測する」ないしこれに類した表現や、こうした記述の前提をなす仮定が含まれる場合があります。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①ナノマニュファクチャリングテクノロジー製品への需要水準（グローバルな経済および市況、事業支出および個人消費支出、エレクトロニクス製品および半導体への需要、再生可能エネルギーに関する政策と奨励制度、国際情勢不安などの影響を受ける）、②顧客企業の設備稼働率と生産設備ニーズ（最新技術を採用した設備を含む）、③お客様が十分な資本と当局の承認を取得してインフラ要件を満たす能力、④当社の報告セグメント間で対象市場の状況の違いによって生じる業績のばらつき、⑤グローバルな事業と効率の強化に向けた活動の成功と効果、⑥買収事業や合併事業の業績、⑦当社が(i)広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、(ii)効果的なコスト管理を維持し、コスト構造を事業環境にタイムリーに適合させる能力、(iii)サプライチェーンを含めたリソースや生産能力を効果的に計画・管理する能力、(iv)重要技術に関する知的財産権を取得ならびに保護する能力、(v)主要社員を勧誘し、意欲を高め、引き留める能力、⑧当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類（Form 10-K、Form 10-Q、Form 8-K 報告書を含む）に記載されているリスク、その他があります。将来見通しの記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは5月13日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースを
アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は1979年10月に設立。大阪支店ほか14のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>

APPLIED MATERIALS, INC.

連結要約損益計算書

(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)	3ヵ月期末		6ヵ月期末	
	2008年 4月27日	2007年 4月29日	2008年 4月27日	2007年 4月29日
純売上高	\$2,149,998	\$2,529,561	\$4,237,395	\$4,806,828
売上原価	<u>1,183,170</u>	<u>1,392,951</u>	<u>2,335,586</u>	<u>2,607,680</u>
売上総利益	966,828	1,136,610	1,901,809	2,199,148
営業費用：				
研究開発費及び技術費	287,122	291,044	560,341	578,611
販売費	119,410	112,107	243,327	219,019
一般管理費	122,035	119,391	238,011	241,202
リストラクチャリング、資産減損	<u>510</u>	<u>25,044</u>	<u>49,496</u>	<u>21,766</u>
営業利益	437,751	589,024	810,634	1,138,550
税引前の持分法投資損益	9,766	5,924	19,352	9,861
支払利息	6,256	8,845	10,801	19,313
受取利息	<u>32,414</u>	<u>34,022</u>	<u>62,984</u>	<u>64,125</u>
税引前利益	454,143	608,277	843,465	1,173,501
法人所得税	<u>151,636</u>	<u>196,833</u>	<u>278,582</u>	<u>358,581</u>
純利益	<u>\$ 302,507</u>	<u>\$ 411,444</u>	<u>\$ 564,883</u>	<u>\$ 814,920</u>
一株当たり利益：				
基本	\$ 0.22	\$ 0.30	\$ 0.41	\$ 0.59
希薄化後	\$ 0.22	\$ 0.29	\$ 0.41	\$ 0.58
期中平均株式数：				
基本	1,356,705	1,391,076	1,363,975	1,392,477
希薄化後	1,373,314	1,407,255	1,379,071	1,408,224

APPLIED MATERIALS, INC.

連結要約貸借対照表

(単位: 千ドル)	2008年 4月27日	2007年 10月28日
資産の部		
流動資産:		
現金及び現金同等物	\$ 1,098,259	\$ 1,202,722
短期投資	1,357,097	1,166,857
売掛金	1,729,487	2,049,427
棚卸資産	1,626,239	1,313,237
未収還付法人所得税	450,187	426,471
その他流動資産	<u>345,669</u>	<u>448,879</u>
流動資産合計	6,606,938	6,607,593
長期投資	1,392,504	1,362,425
有形固定資産	2,766,315	2,782,204
減価償却費累計	<u>(1,692,513)</u>	<u>(1,730,962)</u>
有形固定資産純額	1,073,802	1,051,242
営業権	1,176,122	1,006,410
買収技術及びその他無形資産	456,920	373,178
持分法投資	95,708	115,060
繰延税金資産及びその他資産	<u>168,956</u>	<u>146,370</u>
資産合計	<u>\$10,970,950</u>	<u>\$10,662,278</u>
負債及び資本の部		
流動負債:		
一年以内返済長期債務	\$ 2,749	\$ 2,561
買掛金及び未払費用	2,598,891	2,221,516
未払法人所得税	<u>105,785</u>	<u>157,549</u>
流動負債合計	2,707,425	2,381,626
長期債務	202,000	202,281
その他負債	<u>350,721</u>	<u>256,962</u>
負債合計	<u>3,260,146</u>	<u>2,840,869</u>
株主持分:		
普通株式	13,554	13,857
資本準備金	5,004,030	4,658,832
利益剰余金	11,265,710	10,863,291
自己株式	(8,575,054)	(7,725,924)
その他の包括利益累計額	<u>2,564</u>	<u>11,353</u>
株主持分合計	<u>7,710,804</u>	<u>7,821,409</u>
負債及び資本合計	<u>\$10,970,950</u>	<u>\$10,662,278</u>

APPLIED MATERIALS, INC.
連結要約キャッシュフロー計算書

(単位: 千ドル)	6ヵ月期末	
	2008年 4月27日	2007年 4月29日
営業活動によるキャッシュフロー:		
純利益	\$ 564,883	\$ 814,920
営業活動から得た現金と純利益との調整:		
減価償却費	154,321	123,978
有形固定資産処分損	21,527	12,476
リストラクチャリングと資産減損	49,496	21,766
繰延税金	(38,538)	(7,553)
株式ベース報酬プランによる税額控除の限度超過分	(5,406)	(3,243)
買収した継続中の研究開発費	—	4,900
認識された純投資損失 (利益)	(3,560)	3,129
税引前の持分法投資損失	19,352	9,861
株式ベース報酬	89,044	82,823
営業資産負債の増減 (買収額差引後):		
売掛金、純額	385,830	(71,064)
棚卸資産	(277,478)	(62,442)
その他流動資産	116,352	2,969
その他資産	(4,875)	(3,483)
買掛金及び未払費用	195,040	(36,546)
未払法人所得税	(11,803)	(3,725)
その他負債	9,548	5,565
営業活動から得た現金	<u>1,263,733</u>	<u>894,331</u>
投資活動によるキャッシュフロー:		
資本支出	(137,699)	(131,266)
買収による支払現金 (取得現金差引後)	(235,324)	(127,677)
資産売却による収入	—	17,727
投資有価証券の売却及び満期償還による収入	1,285,365	1,400,576
投資有価証券の購入	<u>(1,530,288)</u>	<u>(1,484,869)</u>
投資活動による取得 (支出) 現金	<u>(617,946)</u>	<u>(325,509)</u>
財務活動によるキャッシュフロー:		
短期借入金の返済	(12)	(302)
普通株式発行による収入	308,463	169,884
普通株式買入	(899,984)	(532,015)
株式ベース報酬プランによる税額控除の限度超過分	5,406	3,243
株主への配当金支払額	<u>(164,274)</u>	<u>(139,489)</u>
財務活動に充当した現金	<u>(750,401)</u>	<u>(498,679)</u>
為替レート変動による現金及び現金同等物への影響	151	438
現金及び現金同等物の増加額	<u>(104,463)</u>	<u>70,581</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>1,202,722</u>	<u>861,463</u>
現金及び現金同等物の期末残高	<u>\$ 1,098,259</u>	<u>\$ 932,044</u>
補足的キャッシュフロー情報:		
法人税の現金支払額	\$ 167,185	\$ 365,012
利息の現金支払額	\$ 7,229	\$ 14,049

APPLIED MATERIALS, INC.
GAAP と非 GAAP データの差異調整表

	3 ヶ月期末			6 ヶ月期末	
	2008 年 4 月 27 日	2008 年 1 月 27 日	2007 年 4 月 29 日	2008 年 4 月 27 日	2007 年 4 月 29 日
<i>(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)</i>					
非GAAP ベースの純利益					
報告上の純利益 (GAAP ベース)	\$ 302,507	\$ 262,376	\$ 411,444	\$ 564,883	\$ 814,920
株式ベース報酬の費用	50,322	38,722	47,922	89,044	82,822
買取に関連した一部項目 ¹	31,144	31,038	23,725	62,182	37,105
リストラクチャリングと資産減損 ^{2,3,4}	510	48,986	25,044	49,496	21,766
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用 ⁵	259	1,021	50,299	1,280	50,299
過去の申告所得税の監査結果 ⁶	-	-	-	-	(29,863)
非GAAP 調整の税効果	(23,142)	(37,326)	(49,239)	(60,468)	(62,673)
非GAAP ベースの純利益	\$ 361,600	\$ 344,817	\$ 509,195	\$ 706,417	\$ 914,376
非GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)					
報告上の希薄化後一株当たり利益 (GAAP ベース)	\$ 0.22	\$ 0.19	\$ 0.29	\$ 0.41	\$ 0.58
株式ベース報酬の費用	0.03	0.02	0.02	0.05	0.04
買取に関連した一部項目	0.02	0.02	0.01	0.03	0.02
リストラクチャリングと資産減損	-	0.02	0.01	0.02	0.01
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用	-	-	0.02	-	0.02
過去の申告所得税の監査結果	-	-	-	-	(0.02)
非 GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)	\$ 0.26	\$ 0.25	\$ 0.36	\$ 0.51	\$ 0.65
一株当たり利益の算出に用いた 希薄化後株式数	1,373,314	1,383,886	1,407,255	1,379,071	1,408,224

¹ 買取に起因する増分費用は、売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整額と、購入した無形資産の償却からなっています。2007年4月29日に終了した3カ月間および6カ月間の業績には、2007年度第2四半期に行ったブルックスオートメーション社ソフトウェア部門の買取に関連する進行中の研究開発費用500万ドルが含まれています。

² 2008年4月27日に終了した6カ月間の業績には、グローバルなコスト削減プランに関連するリストラクチャリング費用3,800万ドルが含まれています。

³ 2008年4月27日、2008年1月27日、2007年4月29日に終了した各四半期の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したリストラクチャリング費用と資産減損費用51万ドル、1,100万ドル、2,500万ドルが含まれています。2007年4月29日に終了した3カ月間および6カ月間の業績には、ビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したリストラクチャリング費用と資産減損費用2,500万ドルが含まれています。

⁴ 2007年4月29日に終了した3カ月間および6カ月間の業績には、オレゴン州ヒルズボロの施設売却から得た純利益300万ドルが含まれています。

⁵ 2008年4月27日、2008年1月27日、2007年4月29日に終了した各四半期の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したその他の営業費用25万9,000ドル、100万ドル、および5,000万ドルが含まれています。

⁶ 2007年4月29日に終了した6カ月間の業績には、それ以前の年の所得税申告の監査結果に伴う2,400万ドルの税還付と、2006年1月1日に遡って研究開発税額控除が復活したことに伴う600万ドルの税還付が含まれています。